

平成 29 年 9 月〇〇日

箕輪町議会議長 木村英雄 様

箕輪町議会議員 向山 章
箕輪町議会議員 唐澤千洋
箕輪町議会議員 小出嶋文雄
箕輪町議会議員 松本五郎
箕輪町議会議員 唐澤 敏

復 命 書

1 日 時

8月24日(木)～8月25日(金)

2 場 所

全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市)

3 目 的(議員グループ研修)

地方の財政状況が益々厳しくなるなか、地方議会にとっても、まちの財政状況や施策を把握し議論することが、一層重要となっている。

このため、以下のポイントについて研修を行う。

- ①自治体予算の基本的事項やチェックポイントを理解する
- ②持続可能な財政運営方策について考える
- ③住民ニーズに応える政策を実現するための方策を学ぶ

4 内 容

自治体予算の原則(向山)

歳入・歳出予算のチェックポイント①(小出嶋)

歳入・歳出予算のチェックポイント②(松本)

財政を診断する(唐澤さ)

今後の財政運営を考える(唐澤ち)

グループワーク・まとめ(唐澤さ)

財政を診断する

唐澤 敏

要旨

将来の見通しは難しい。そこで、過去と現在の数値データから将来を予測し、対策を立てる必要がある。他自治体との比較分析も大切であり、そのための共通の指標を設定することが必要になってくる。

○財政診断に活用できる資料

市町村 財政状況の公表資料/決算関係資料/定員・給与関係公表資料/出資法人等の経営状況の議会報告/行財政改革に関する資料/財務4表 など

総務省 財務状況資料集/市町村決算状況調/全市町村の主要財政指標/類似団体別市町村財政指数彪/地方公営企業決算/公営施設状況調/第三セクター等の状況調 など

○普通会計について

比較の水準を合わせるため、統計上、一般行政部門の会計を普通会計として整理し、その他の会計(公営事業会計)と区分する。

○実質収支 ～歳入と歳出の収支はあっているか～

黒字か赤字かを判断する際の中心指標

実質収支 = 歳入決算額 - 歳出決算額 - 翌年度への繰り越し財源

○実質収支比率

歳入と歳出のバランスの程度をみる

実質収支比率 = (実質収支額 / 標準財政規模) × 100

標準財政規模: 自治体の一般財源の標準的な総額

目安として3～5%程度が望ましいといわれている

○実質単年度収支

実質単年度収支の赤字が継続している場合、次第に財政が危険水域に入ってくる惧れがある。

実質単年度収支 = 単年度収支 + 財政調整基金積立額 + 地方債繰上償還額 - 財政調整基金取崩し額

○財政力指数 ～財政面での豊かさの程度は～

財政力指数が高い場合、留保財源が大きく、財源に余裕がある。

財政力指数 = 基準財政収入額 / 基準財政需要額の過去3年間の平均値

基準財政需要額 - 基準財政収入額 = 普通交付税額

最近の全国の市町村における財政力指数は0.5ぐらいで推移している

○経常収支比率

経常一般財源のうち、どの程度経常的な経費にとられ、政策的な経費などに回す余裕はどの程度あるのか。

経常収支比率＝(経常経費充当一般財源÷経常一般財源)×100

全国的には、90.0ぐらいで推移している

○健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」(平成21年4月に全面施行)にもとづき、早期に是正を促すとともに、普通会計とともに他会計も連結させる。加えて、地方公共団体の財政状況を統一的な指標で幅広く捉えて公表する。

健全化判断比率(①実質赤字比率②連結実質赤字比率③実質公債費比率④将来負担比率)を、監査委員の審査に付し議会に報告し公表する。

健全段階(青信号)、早期健全化段階(黄信号)、再生段階(赤信号)に区分して対応する。

○実質公債費比率(健全化判断比率のひとつ)

借金返済の重さを図る指標

実質的な借金返済額の標準的な一般財源額に対する割合(3か年平均)

全国的に減少傾向で、最近では7%台に推移している。

○将来負担比率(健全化判断比率のひとつ・・・リスクの連結)

地方公社や損失補てんを行っている出資法人等も含め、一般会計等で将来負担すべき実質的な負債の標準的な一般財源額に対する割合

最近の全国市町村における将来負担比率は、38.9%まで低下している。

市町村で350以上になると、早期健全化段階(黄信号)に該当する。

グループワーク・まとめ

唐澤 敏

各班6人ぐらいに分かれて意見交換を行った後、各班で話し合われた内容を発表した。

各班のテーマは、予算審議の在り方(4)、決算審査や事業の評価(3)、財源確保策(3)、予算・財政状況に関する住民への情報提供や住民からの意見聴取の方法(1)、公共施設の老朽化対策(3)および歳出の効率化～アウトソーシングやICT活用など～(1)であった。()は班数

短時間であったが、各議会の実情を反映した活発な意見や情報の交換が行わ

れた。議会の組織や運営のあり方に及んだ意見も多く出された。